

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 02-082290

(43)Date of publication of application : 22.03.1990

(51)Int.Cl.

G09G 1/16

(21)Application number : 63-234637

(71)Applicant : TOSHIBA MACH CO LTD

(22)Date of filing : 19.09.1988

(72)Inventor : KUSUI NAOKI

WAKASAKI KUNIYOSHI

KATAYAMA MITSUNOBU

SUZUKI AKIRA

(54) PLOTTING METHOD FOR PLOTTING PLURAL ARRAYED GRAPHICS

(57)Abstract:

PURPOSE: To decrease the quantity of data for plotting and to prevent the generation of unequal array in the case of repeatedly plotting plural graphics by separating the data for plotting to position information and graphic information, determining the relative positions of a charge beam and sample with the position information and plotting with the graphic information.

CONSTITUTION: The data for plotting is separated to the graphic information and the position information and the respective graphics are so formed as to enter within one raster scan width. The respective graphics are then plotted by the graphic information while the materials to be plotted, the scan direction of the charge beam and further the relative positions in the direction perpendicular thereto are changed by the position information for each of the respective graphics. One graphic information is inputted and is repeatedly used if all the shapes of the graphics are the same. The graphic information for every graphic shape is inputted, selected and repeatedly used or one graphic information is converted and used if there are several kinds in the shapes of the graphics. The data quantity for plotting in the case of plotting the plural arranged graphics is decreased in this way and the accurate plotting is possible while the generation of the unequal is suppressed.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Japan Patent Office
Utility Model Laying-Open Gazette

Utility Model Laying-Open No. 02-082290
Date of Laying-Open: June 26, 1990
International Class(es): D 06 F 58/02

(pages in all)

Title of the Invention: DRYING MACHINE

Utility Model Appln. No. 63-162954
Filing Date: December 15, 1988
Inventor(s): Katsuyoshi ADACHI

Applicant(s): Katsuyoshi ADACHI

(transliterated, therefore the
spelling might be incorrect)

公開実用平成 2-82290

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

平2-82290

⑬ Int. Cl.⁵

D 06 F 58/02

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開

平成2年(1990)6月26日

N

6681-4L

審査請求 有

請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 乾燥機

⑯ 実 願 昭63-162954

⑰ 出 願 昭63(1988)12月15日

⑱ 考 案 者 安 達 克 良 東京都世田谷区給田4-23-11

⑲ 出 願 人 安 達 克 良 東京都世田谷区給田4-23-11

⑳ 代 理 人 弁理士 網 野 誠 外2名



明 細 書

1. 考 案 の 名 称

乾 燥 機

2. 実 用 新 案 登 録 請 求 の 範 囲

洗濯物に光を照射する太陽灯を内蔵したことを特徴とする乾燥機。

3. 考 案 の 詳 細 な 説 明

(産業上の利用分野)

本考案は、洗濯物を乾燥するための乾燥機に関し、さらに詳しくは、人工的な乾燥に、自然乾燥の作用をも付加した乾燥機に関する。

(従来 of 技術)

近来、家庭内の電化、家事の合理化の傾向にともない、洗濯物を乾燥するための電気やガスを利用した乾燥機が一般家庭に普及し始めている。

このような家庭用乾燥機は、洗濯物を外に

1088



吊して干さなくても洗濯物を乾かすことができるので、働きに出るなどして主婦が昼間家を空けることが多い場合や、マンションやアパートなどの干し場所の狭い所に住んでいる場合や、下着などを外に干したくない事情のある場合などに非常に便利である。

また、特に都市部における建築物の高層化による日照時間の減少、外干しにした洗濯物を汚染するほこりや煤煙に対処すべく、今後ますます普及率が上昇するものと予想されている。

(考案が解決しようとする課題)

しかしながら、現在のところ乾燥機の一般家庭への浸透状況はあまり芳しいものではない。

その原因としては、実際に家庭において衣服の洗濯を行ない、洗濯物を干す者、すなわち主として主婦層にあっては、洗濯物を太陽の光に当てて外干しし、自然乾燥させなけれ



ば気が済まず、ガスや電気による人工的な乾燥を好まないという風潮があることが挙げられる。

この風潮は、もちろん従前からの慣習に負うところも大きいですが、太陽の光には紫外線が含まれており、紫外線が洗濯物に付着した雑菌を殺す作用があるので、この働きが人工的な乾燥では得られないという科学的な認識もその一助となっている。

よって、本考案の目的は、人工的乾燥を行なう乾燥機に、自然乾燥の要素をも付加することによって、上記のような一般大衆の嗜好及びニーズに適合するような乾燥機を提供することにある。

(課題を解決するための手段)

上記目的を達成するために本考案は、洗濯物に光を照射する太陽灯を内蔵して乾燥機を構成した。

なお、ここで太陽灯とは、光源から発する



光のスペクトル組成が太陽光に近いもの、及び紫外線を多く含む紫外線灯のようなものをいう。

(作用効果)

本考案は上記の構成としたので、次のような作用効果を奏する。

乾燥機の作動中に、太陽灯を点灯させておくと、乾燥される洗濯物に、その光が照射される。

よって、紫外線による殺菌作用が得られ、実質的に自然乾燥と同一の効果を奏するので、一般大衆の嗜好に適合した乾燥機を実現することができる。

(実施例)

以下図示の実施例について説明する。

第1図は本考案に係る乾燥機を示す斜視図である。

第1図において、乾燥機1は本体部2と、蓋部3とからなる。本体部2の前面中央の蓋



部 3 を開くと、洗濯物出し入れ口 4 があり、その中には回転ドラム 5 が備えられている。6 は乾燥機 1 の作動スイッチである。蓋部 3 の裏側の中央部にはガラス製の透明窓 7 が設けられ、その内側に太陽灯 8 が備えられている。

次に本実施例の作用について説明する。

本実施例の乾燥機 1 は、通常の乾燥機と同様、洗濯物出し入れ口 4 からある程度脱水した洗濯物を入れ、作動スイッチ 6 により、回転ドラム 5 を回転させて洗濯物を掻き回すとともに、熱交換機（図示していない）等を用いて水分をほとんど含まない熱風を回転ドラム 5 内に吹き込むことにより、洗濯物を乾燥させる。

この乾燥を行なう際、太陽灯 8 を点灯し、透明窓 7 を介して紫外線を含む光を洗濯物に照射する。回転ドラム 5 の回転により、洗濯物は掻き回されているので、太陽灯 8 の光



は、洗濯物全体にまんべんなく照射される。
太陽灯 8 は、透明窓 7 により洗濯物から隔てられているので、太陽灯 8 により、洗濯物が過熱して焦げたり、火が付いたりすることはない。なお、透明窓 7 は、紫外線の透過に支障のないようなガラスで製造されていることは言うまでもない。

また、熱風を吹き込む過程の終了後に、回転ドラム 5 を回転させつつ太陽灯 8 から光を照射するようにして、乾燥過程を二つに分けてもよい。

このようにして乾燥された洗濯物は、自然乾燥と同様に紫外線を照射されているので、洗濯物に付着していた雑菌が排除され、清潔に乾燥することができる。

以上本考案の実施例について説明したが、本考案は上記実施例に限定されるものではなく、本考案の要旨の範囲内において適宜変形実施可能であることは言うまでもない。



4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案に係る乾燥機を示す斜視図である。

1 . . . 乾燥機、2 . . . 乾燥機本体部、
3 . . . 蓋部、4 . . . 洗濯物出し入れ口、
5 . . . 回転ドラム、6 . . . 作動スイッチ、
7 . . . 透明窓、8 . . . 太陽灯。

実用新案登録出願人 安 達 克 良

代 理 人 網 野 誠

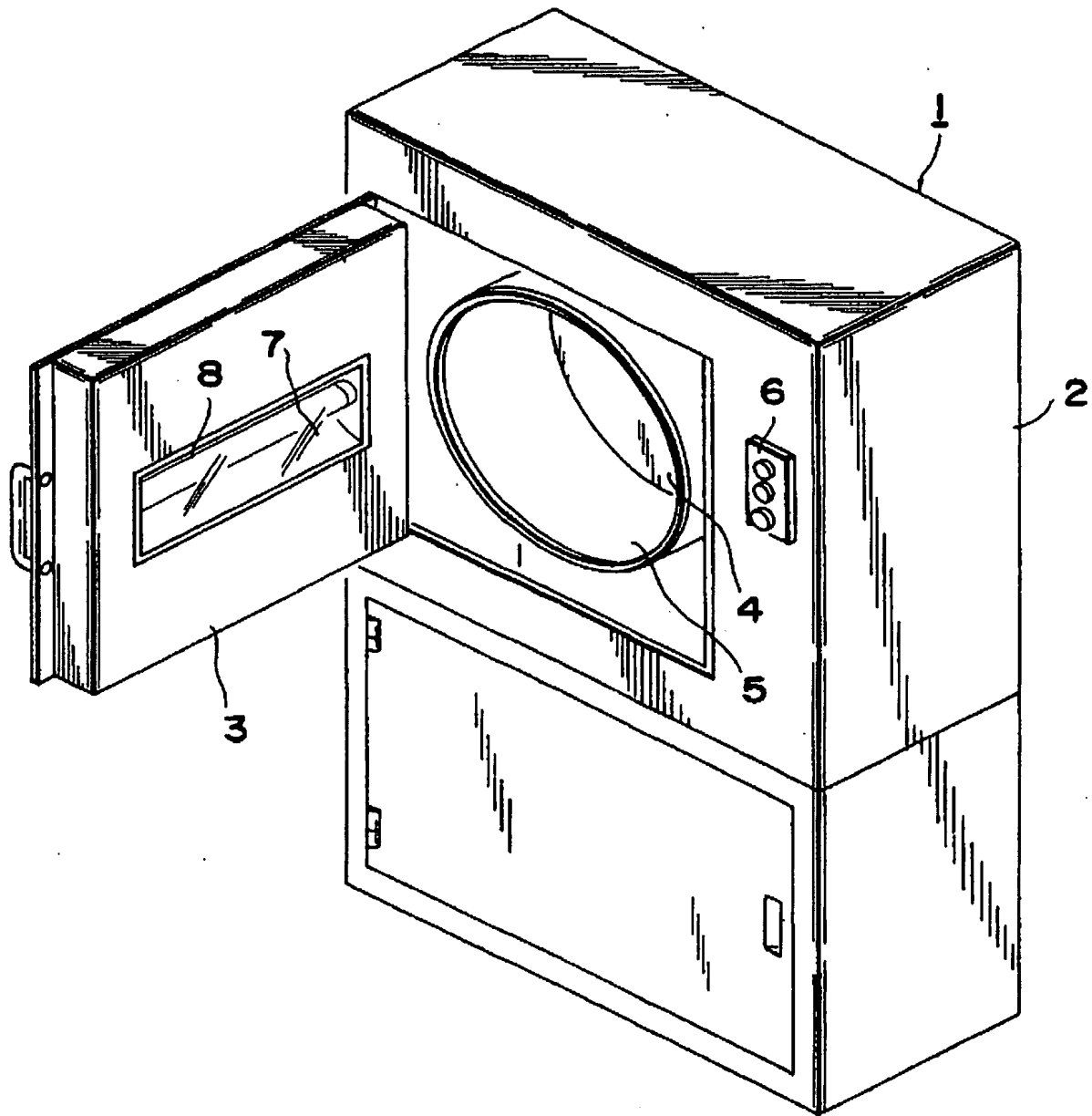


同 網 野 友 康



同 初 瀬 俊 哉





第 1 図